

名古屋市教育委員会臨時会

平成27年11月16日

午後5時00分

教育委員会室

議 事

日程1 聞き取り調査の結果について

出席者

梶 田 知 委員長

福 谷 朋 子 委 員

野 田 敦 敬 委 員

下 田 一 幸 教育長

教育次長始め、事務局職員12名 ※傍聴者なし

(梶田委員長)

ただ今から教育委員会臨時会を開催いたします。

本日は急きよの開催であったことから、2名の委員より欠席の連絡をいただいておりますが、会議開催における定足数は満たしております。

それでは、市立中学校男子生徒の自死にかかる「聞き取り調査の結果について」を議題といたしますので、事務局からの報告をお願いします。

(三浦指導室長)

今回の市立中学校男子生徒の自死について、11月5日、教育委員会定例会で緊急アンケートの結果を報告させていただきました。その後、アンケートの調査結果を受けて、学校生活において当該生徒とかかわりの深い、当該学級生徒と卓球部生徒を中心に、生徒の精神状態に配慮しつつ、聞き取り調査を行いましたので、結果をご報告いたします。

1をご覧ください。当該生徒が在籍していた学級の生徒28人を対象に、11月6日金曜日、指導主事2人と子ども応援委員会スクールカウンセラー1人の計3人で、詳細な聞き取りを行いました。その集計結果ですが、(2)集計結果にありますように、「いじめに係る場面を直接見た」生徒が7人、「本人から聞いた」生徒が2人、「本人以外の人から聞いた」生徒が9人でした。

別紙表面をご覧ください。聞き取り調査結果等については、対象、状況、場面、聞き取った概要が記してあります。ここにはいじめに関わると思われるものが全て掲載してあります。黒丸が当該生徒、白丸はその他の生徒であります。白丸その他の生徒の中には、重複しているものもございます。

1年当該学級生徒で「いじめに係る場面を直接見た」という内容は、卓球部に関することについて1人、「10月頃に、部活の中の誰かに『弱い』と言われているのを見た」というものでした。また、関連情報として、下に触れさせていただきましたが、当該生徒というわけではなく「先輩にみんなが怒られる時があった」、「先輩が1年生に嫌なことをする」、「1年生に割り振られた卓球台を奪われた」などの関連の情報がございました。

当該生徒の弁当に関することでは、2人から話がありました。「当該生徒が弁当のおかずを食べられたことがあった」、また「同じクラスのある生徒が当該生徒の弁当を勝手に食べてしまうことがあったこと」、「体育大会の日に、当該生徒は、昼食を救助袋の陰に隠れて食べていて、担任が見つけて隣に呼んで食べたことがあったこと」、「担任の先生は気づいていないと思うこと」が挙げられました。また弁当についての関連情報として、「自分は弁当をよく忘れる。忘れて分けてもらって助かった。とっただと言われるのは嫌だから、当該生徒が『いいよ』と言ってからもらうように気を付けていた」、あるいは、別の生徒ですが、「自分も忘れたときは、おかずをもらったことがあるし、分けてあげたこともある。自分の学級はそういう雰囲気クラスである」、あるいは、「当該生徒がおかずをあげているのを見たことはあるが、奪われたという感じではなかった」、それから「ランチを忘れた子にパンをひとかけあげてることがあった」といったものが挙げられています。

「その他」につきましては、4人から話がありました。「入学した頃、他のクラスの子に体型についての悪口を言われていた」、それから、「いつ誰からは分からないが『お前、なんでできないんだよ』と言われていた」、「10月28日の休み時間に別の太っている子とけんかをしていた時に、他のクラスの子に2人の体型について悪口を言わ

れていた」、「他のクラスの子から何度か、からかわれていることがあり、その時は、がっかりした様子で学級に戻ってきていた」、「担任から追いかけるなどしていた」などが挙げられました。この追いかけてこについての関連の情報として、「冗談で楽しそうだった」などという関連情報がございました。

「本人から聞いた」内容は、卓球部に関することが2人で、「5月に嫌な先輩がいると相談を受けた」、「先輩から走らされてしんどいと聞いた」の2点が挙げられました。

「本人以外の人から聞いた」という内容は、「『部活で先輩から卓球を弱いと言われていた』と、事件後にみんなが言っていたこと」などが挙げられました。

1枚目に戻っていただき、2、卓球部生徒の欄をご覧ください。次に、卓球部において、長期欠席生徒1人と当該学級生徒5人を除く66人を対象に、11月9日月曜日から12日木曜日にかけて、指導主事2人と子ども応援委員会スクールカウンセラー1人の3人で、詳細な聞き取りを行いました。その結果は、「いじめに係る場面を直接見た」生徒が4人、「本人から聞いた」生徒が1人、「本人以外の人から聞いた」生徒が5人でした。

内容について、別紙裏面をご覧ください。

「いじめに係る場面を直接見た」という内容は、4人とも卓球部に関してのことで、「友達が当該生徒のことを『かすいじゃん』と言ったところを見た」、あるいは「当該生徒が体型のことでからかわれていた」、「リーグ戦で、『お前弱いのに』と言われていたこと」、それから「10月に練習中に『弱いな』と言われていたこと」が挙げられました。

「本人から聞いた」内容は、「当該生徒から、10月中旬に『部活でいじめられているんだよね。もうだめかもしれない』と言われ、『大丈夫？』と聞くと、『冗談だけだね。気にしなくていいよ』と返した」とのことでした。

「本人以外の人から聞いた」という内容は、「当該生徒が同級生から『弱い』と言われていたという噂を事件後に聞いたこと」や、練習で「いつもは2、3周だけ走るところを、当該生徒だけ10周多く外周を走らされた」と1か月程前に聞いたこと」などが挙げられました。

部活動の練習についての関連の情報として、「2年生の一部が1年生の台を使ったために、1年生が使えなかったことがあったこと」、「部活後の帰宅中に、3人の卓球部員が1人を追いかけていたこと」、「1年生全体に対して、ランニングの指示や筋トレのメニューで、先輩から無理な指導があったこと」、「2年生に自分の球を持っていかれるなど、嫌がらせを受けたことがあること」や「素振りをしていると『下手だな』

など2年生の言葉遣いがきつかったこと」が挙げられました。

また、この聞き取りの中で、新たに確認が必要となった事項、別紙の欄外にあるアスタリスクが付いた1から7でございます。これにつきましては、11月13日、11月16日に7人、それから弁当に関する情報収集で5人の、計12人について聞き取りを行いました。その内容は、先ほどお話しました弁当に関しては、1枚目の関連情報の方に示してあります。その他7人のアスタリスクのもの、これは他の誰かがこういうふうなことを言っていたということを知ったという伝聞のものでございますが、「当該生徒がズボンを下ろされたことを事件後に誰々から聞いた」というものについては、伝聞を言ったという生徒に再度聞き取りを行いました。当該生徒がズボンを下ろされたことについてですが、アスタリスク2から4の3人の生徒に聞き取ったところ、1人が「見ていない」、2人が「テレビの報道で知った」とのことで、実際にその場面を見ている生徒はいませんでした。

アスタリスク1の生徒が「当該生徒から相談された内容」として、「部活動で嫌な先輩がいること」、「塾がきついこと」等であったということ、アスタリスク5の生徒が「小学校の頃いじめられていたことがある」の具体的な内容として、「6年生のクラスで、当時数人の児童が当該生徒の悪口を言っていたのを聞いたこと」、それから、アスタリスク6、7「合唱コンクールの練習中の悪口」については、「悪口は聞いたことがなく、噂でも聞いたことがない」というふうに挙げられました。

再度1枚目にお戻りください。4をご覧ください。続いて、緊急アンケート調査時、全校生徒に教育委員会のメールアドレスを周知したことで、教育委員会に寄せられたメールの件数は、本日16時半現在、8件でした。生徒からと思われるものが3件、保護者からと思われるものが5件でした。生徒からのものにつきましては、当該生徒とこの事案当日に出会ったときの様子、それから、前日、卓球部に来たときの当該生徒の様子、当該校の教職員に対する不満の3点でございます。保護者からの5件につきましては、マスコミの取材への苦情が2件、臨時保護者会についてのご意見が2件、教育委員会、学校への質問が1件ございました。

なお、参考資料として、卓球部、当該学級を聞き取りした結果を、個人情報に配慮した上で、配布をいたしました。弁当に関する記載、それから追加の伝聞情報の聞き取り等は、先ほど申しましたように、1の関連情報、および3、追加の聞き取りに記載しております。

以上、報告した内容について、今までの情報とともに、第三者の有識者で構成する

「名古屋市いじめ対策検討会議」に報告し、今後、自死に至った背景やいじめとの関連を分析、調査してまいります。

以上で説明を終わります。

(梶田委員長)

報告が終わりましたので、ご質問、ご意見等はいかがでしょうか。ただし、公開の場でございますので、個人情報等についてのご注意をしていただきますようお願いいたします。

(野田委員)

冒頭でありましたように、生徒の精神状態に配慮しつつ、丁寧に聞き取っていただいたと思います。こうやって紙面にしますと、もう少し突っ込んでというところもあるんですけど、紙面にした結果でありまして、たぶん精神状態に配慮しつつ聞き取られた結果ではないかなと。今後も聞き取りの場面が出てくるとは思いますけれども、ぜひその部分は配慮して聞き取りをしていただきたいなど、まず要望をしておきます。それで、前の総合教育会議の時に申しましたけれども、「いじめに係る場面を直接見た」、これは当該学級の生徒も卓球部の生徒も合わせると11名いるんですけども、この扱いについては、要するにこの事件が起きてから聞き取っているものですから、その場面を振り返ってみると、あれはそうじゃなかったかなというような部分があるだろうなというふうに思います。だから、事件の前に直接見た時にはそうは感じなくても、この事件があって振り返ってみると、こういう11件という数字が挙がってくるのかなと。それから本人から聞いたというのがありますが、例えば、別紙の表面の当該学級の生徒への聞き取りによると2件、いずれも卓球部に関する事で、「嫌な先輩がいる」、それから「練習がきつい」と。この辺りはどの部活動でも一定程度はあるのかなと。一定程度はあるから見過ごしていいとは限りませんが、この辺からなかなかアンテナを上げて考えるのは、難しかったんじゃないかなと感じました。それで、ここから見ますと、体型の件、卓球部がらみの、弱いとか練習がきついとかいう件、それからズボンを下ろされた件、弁当の件、この4つにある程度絞られてきているのかなと思うのですが、先ほども申しましたように、この弱いとか練習がきついというのは、お父さんもどこかでコメントしてみえるように、運動部であればそのところはあるのかなと思います。それからズボンの件も情報がかなり錯綜していて、別紙の裏面を見ますと、アスタリスクの2、追加の聞き取りですけども、「報

道で見たが、『ズボンの話は●●にはないよね』と、学級で話題になった。」と。要するに、学級のなかではそんなことはないという子もかなりいるわけですね。そうすると、その辺の情報がかなりあいまいになってくる。この辺もいじめ対策検討会議の方で明らかになってくるかなと思います。それから弁当の件も、これもこのいただいた資料を見ますと、故意に奪われていたのか、それか好意的にあげていたのか、なかなか判断しづらい。それから、救助袋の横で食べていたという件、これだけ見ますと、隅みたいなふうに見えるかもわかりませんが、救助袋というのは教室の中はかなり大きいものがありまして、その隣は、何と言いますか、ちょうど入りやすいというか、ちょっと潜られるような状況にはあるんじゃないかなと。それから運動会の時ですから、きっといすと机がないと思うんですね、教室には、2つのグループに分かれていたと言っても、わあっとなっていて、その子は救助袋のところで、若干離れていたかもわかりませんが、その状況も考えると、これも、一概に片隅でというふうには判断できないかなというふうに感じました。例えば、担任の先生は気づいていなかったと思うという部分ですけれども、この辺り担任の先生の聞き取りはどういう状況なのかということ、まず1点教えてください。

(三浦指導室長)

この弁当のことにつきましては、救助袋うんぬんについては知らない、覚えがないというふうに担任は言っております。

(野田委員)

大きな箱ですもんね、救助袋は。だからその陰というのは微妙なところなんですけれども。どう分かれていたのかよく分かりませんが、救助袋にもたれてというふうに見えたかもしれませんし、隠れていたというふうに見えるかもしれませんし、それは事後のことなので、その時どう見えたかということとは言えないなと思います。

(三浦指導室長)

1人で食べていたというところは覚えがないと担任は言っております。

(梶田委員長)

関連で、これを見ますと、「隣で呼んで一緒に食べたことがあった」と生徒は言っているんですが、担任はこのことについてはどうコメントされているんでしょうか。

(三浦指導室長)

自分の席に呼んで一緒に弁当を食べたというようなことが子どもから言われているんですけど、担任は、自分はあまり生徒1人を呼んで一緒に食べるということはしていないというふうに話をしております。それから、普段は生活グループで固まって食べている時に、自分は教卓から見ているというふうに話をしています。体育大会の日は、先ほどもありましたけれども、さすが教室にないということもあるんですけども、グループでは食べていないと思うが、救助袋で1人で食べていたという覚えはないということでございます。

(福谷委員)

確認と質問ですが、まず、別紙の聞き取り結果等のところの見方ですが、例えば弁当のところに関連情報があるんですけど、ここの黒丸で書いているところは、それぞれ別の子どもから聴取したものと理解してよろしいでしょうか。

(三浦指導室長)

別の生徒でございます。

(福谷委員)

弁当の関連情報で、「自分(〇〇)はよく弁当を忘れる。弁当を忘れると分けてもらって助かった。とったと言われるのは嫌だから、●●が『いいよ』と言ってから、もらうように気を付けていた」という、この〇〇というのは、その他の生徒さんで、おそらくこれを読むと、もらっていたことがある生徒さんからという理解でよろしいでしょうか。

(三浦指導室長)

その上の〇〇と関連情報の上にある〇〇と、ということでしょうか。

(福谷委員)

はい。その下の「分けてもらったことも分けてあげたこともある。自分の学級はそういう雰囲気クラスである」というのは、〇〇の子とはまた別の生徒さんが話していることという理解ですね。

(三浦指導室長)

4名とも別の生徒でございます。

(福谷委員)

担任の先生に関する事で、当該学級生徒の「直接見た」の「その他」のところ、先生と追いかけて話をしていたという話が2人から出ていると思うんですけども、さっき野田委員もおっしゃったように、後から考えてということで聞き取りに対してこの話をされている可能性もあると思うんですけど、この追いかけてこの状況も担任の先生には確認をされていますか。

(三浦指導室長)

担任は、この生徒にコミュニケーションを、この生徒に限らず、取るということを重視しているということもあって、いろいろ追いかけてなりじゃれあたりということはしていると聞いております。

(野田委員)

関連して、1回目のQ Uで少し担任との距離があるという結果が出ていたので、余計そういうコミュニケーションを取ろうというご努力をされてみえたのかなと思いますけれども。それから、卓球部の生徒の聞き取りのところ、裏面ですね、「その他」のところ、「合唱コンクールの練習中に」と卓球とは関係のないことを卓球部の子が言っているんですけども、「『●●に対する悪口を、担任は見て見ぬふりをした』と、事件後に〇〇と〇〇から聞いた」と。ここの「担任は見て見ぬふりをした」だけが1人歩きするといけませんので、再度聞きますけれども、アスタリスクの6、7ですから、ここで名前が挙がった子ですね。そうすると、追加の聞き取りで、その子に聞いたのが、アスタリスク6、7の結果だと思えますけれども、「合唱練習中の●●の悪口について聞いたことがない。噂でも聞いたことがない。」というふうに、アスタリスク6の子も7の子も言っている。そうすると、この「その他」の発言は根拠がなかったというふうに判断してよいということですか。

(三浦指導室長)

この件については担任にも聞いておりますが、担任は悪口を言っているというのは聞いて

ていないというふうに言っております。それから、アスタリスクの6、7については、そこにある通り、聞いたことがないというふうには聞き取りいたしました。

(福谷委員)

卓球部の聞き取り結果の「本人以外の人から聞いた」というところの3行目なんですけれど、「『いつもは2、3周だけ走るところを、●●だけ10周多く外周を走らされた』と、1か月ほど前に1年生2、3人から聞いた」というような内容がありまして、ここについて追加の聞き取り調査の結果がないものですから、確認なんですけれども、私なりにお聞きしながら参考資料の聞き取りメモを見ていると、2枚目の11の2年生のお子さんではないかと思われるんですが、結局その子は2、3人から聞いたとは言っているけれど、その聞いた子を特定できないから確認することができなかったという理解でよろしいでしょうか。

(三浦指導室長)

これは、名前が挙がっていないということもあって、再度の聞き取りはしておりません。

(梶田委員長)

卓球部の生徒の聞き取りの中で、「部活でいじめられているんだよね。もうだめかもしれない」と、これが10月中旬なんですけど、この10月中旬から11月1日に向けてが、一番この生徒のいじめに対するストレスというか、ピークに来たんだろうなと思われるんですが、こういう内容を時系列でというのは非常に難しいとは思いますが、いかがでしょうか。

(三浦指導室長)

なかなか、前後に何があったかとか、こういうことがあったのではないかとということが、実際出てきているわけではありません。

(梶田委員長)

聞き取りの段階で、一応いつ頃のことかというのは投げかけて聞いているけれども、日にちが入っていないものは、聞けなかったと、分からないということと受け止めていいんでしょうか。

(三浦指導室長)

子どもたちの記憶のこともあるものですから、5月ごろであるとか、いつか覚えていないとか、様々でございます。それで、何月ということがあったものについては、ここに書かせていただいているというふうに理解していただければと思います。

(野田委員)

今話題になっていた、2の卓球部の「本人から聞いた」のところですけども、前の時には部活のことではなくて、他のことみたいなニュアンスで受け取ったよという話をどこかの記録であったと思うんですけど、この文面だけ見ると、「部活でいじめられているんだよね。もうだめかもしれない」と活字にされたものを見ると、これは部活のことだよと見えちゃうんですけど、彼か彼女かは分かりませんが、そうじゃないと感じたわけですよ。そのあたりの違いというのはどう捉えていますか。

(三浦指導室長)

最初に聞いた時に、おっしゃったとおり、「もうだめかもしれない」と言った生徒で、何のことかいろいろ聞いていた同じ生徒でございますが、今回は、当該生徒から「部活でいじめられているんだよね。もうだめかもしれない」と聞いたというふうに話をしているということでございます。

(梶田委員長)

同じ生徒ということですね。

(野田委員)

彼らのなかにも、前に言ったこととずれが出ているわけですね。

(三浦指導室長)

そういうことでございます。

(野田委員)

これも、この「もうだめかもしれない」というところが、ばんと報道で出ちゃいますと、本人自身もそれを見ますからね。そうするとこういうような考えになっていったということも考えられますね。

(梶田委員長)

今回の聞き取りからちょっと外れてしまうかもしれませんが、前回の資料をちょっとよく見させていただきましたら、ハイパーQ Uテストが6月に実施されているんですが、その前に、学校の先生方にハイパーQ Uテストの活かし方ということで共有されているんですね。その中で、学級生活不満足群に属すると、学級になじめず、いじめ、冷やかしを受けている可能性が高いというふうに書かれ、要支援群に付けられると、耐えられないいじめを受けているか、非常に不安傾向が強い状況なのでうんぬんとあるんですね。これが、学校で、テストの前に先生方に共有されている。そして、結果が届いた時に、要支援が8人でしたかね。不満足群が37人と。合計すると45人という、すごい大勢になるんですが、その辺のところで、どんな対応をこの45人という大勢、この学年全体の20%を超える数だと思うんですが、その辺のところがまだ我々には報告されてないような気がするんですが、調査はどうなっているんでしょうか。

(三浦指導室長)

先日のところでお話をさせていただいたと思うんですが、要支援群の生徒につきましては、特に現状、教育相談等々で個々に対応しております。他の、不満足に感ずる、あるいは承認得点が低い生徒につきましては、学年全員の先生で、活躍できる場面や、認められる機会を積極的に取り入れていくという共通理解はされておりますが、具体的に個々の生徒にどのような対応をしているかということについては、まだ聞き取り調査が終わっておりませんので、今後聞き取っていく必要があるというふうに思っております。

(梶田委員長)

要支援群については私もちょっと抜かしましたが、要支援については確かに、その時に学年で共有をして、この子にはどうしていこうということが文書化されて、どう対応してどういう結果になって、改善された例もたくさんありましたけど、ご報告いただいていたんですが、不満足群については、まだ一切調査の結果の報告を受けていないので、ぜひ調査を進めていただきますようお願いいたします。

(野田委員)

最後に。参考資料等を丁寧に見ていけば分かることだと思いますけれども、時間的にも

参考資料を丁寧に見る時間がなかったので、大まかな感想でいいので聞かせていただきたいのですが、卓球部1年2年3年と聞き取りをされて、その大まかな傾向として、例えば1年生は同級生ですよ、自分たちもきついと思っていたとか、2年生は上級生なんで、1年生を鍛えるためにやっていたとか、3年生は3年生でそれぞれ考えはあると思うんですけど、大まかな傾向でいいので、学年間の意識の違いというのがもし分かりましたら教えてください。

(三浦指導室長)

1年生は、入って半年程度ということで、まだまだグループで分けてやればかなり下位のグループに属する者が多かったろうと。それから、2年生については、自分が上学年になってということもあり、そういう指導等をする場面も多かったというふうに考えております。3年生はそろそろ引退という時期ではありますけれども、夏の大会等に向けてやっていると、これほどの部活でもそうだと思うんですけども、そのような形ではなかったかと思えます。

(野田委員)

そんな意識で回答していたということですね。このとき、キャプテンは3年生ですか。

(三浦指導室長)

3年生でございます。

(梶田委員長)

これで生徒に対する聞き取りというのは、今後も継続されるおつもりか、それとも、ここでいったん終わるといったことなのか。

(三浦指導室長)

今後、いじめ対策検討会議の方に諮問していただいたものですから、そこの方と相談しながらと考えておりますが、やはり、2回聞き取った生徒も今回おりますが、かなり精神的に負担を感じている生徒もいるものですから、今後そういうことにも配慮しながら、専門家の意見も聞きながら、再度聞き取りについて継続していくところは継続していこうというふうに考えております。

(福谷委員)

意見というか、できればというお願いなんですけれど、検討会議の方で、事実調査とともに専門家としての視点から分析、評価というものを行われると思うのですが、各分野の専門家の方がそこに選任されていると思うんですけれども、いずれも大切な両輪ですので、そこについて偏りが無いようにといった形で今後協議を進めていただければと思います。よろしくお願いします。

(下田教育長)

現時点で、いじめがあったという認識ですか、認識はどういうような状況でしょうか。

(三浦指導室長)

亡くなった生徒がノートに、いじめが多かったと、弱いとよく言われていたということを残して、書き記していたということと、それから、これまでの聞き取り調査の中で弱いという言葉も出てきております。当該生徒が心身の苦痛を感じており、いじめがあったと捉える必要があると感じております。

(梶田委員長)

他、ありますでしょうか。

(三浦指導室長)

すいません、1点、亡くなった生徒の書き記したものでございますが、訂正を。警察から聞いた情報では、「耐えられない」というふうにあったんですが、実際には「耐えきれない」でございます。

(梶田委員長)

今の話は、今までは警察のコメントをもとに発表していたけれども、今回は直にお聞きしたということですか。

(三浦指導室長)

最初のところでお話しましたように、警察の方からの情報で打たれたものを出しておっ

たんですが、見せていただいていたということです。

(梶田委員長)

他によろしいですか。

それでは、こうして事実関係の調査が進んで、こうしてこの場でも公表されると、お弁当と一緒に食べた生徒ですとか、他の子たちもそうですが、弱いなど1回でも言ったことがあるような子だとか、そういう子たちの心の動揺というのは、本当に計り知れないです。これが、悪い方向に行かないように、ぜひスクールカウンセラーの人たちも大勢動員していただいて、生徒たちの心のケアに努めていただきたいなというふうに思います。今の生徒たちも本当に大切だと思いますので、その辺のところよろしくお願いします。

他に意見もないようです。これで本日の案件は終了いたしました。以上で教育委員会臨時会を終了いたします。

午後5時42分終了